



エピソード from ピエトロ物語

ピエトロドレッシング 和風しょうゆ

創業から35年 おいしさは変わらない



野菜嫌いがなおる魔法のドレッシング
このドレッシングをかけるだけで
子どもたちが野菜をおいしく食べるようになる
ウソのような本当のおはなし

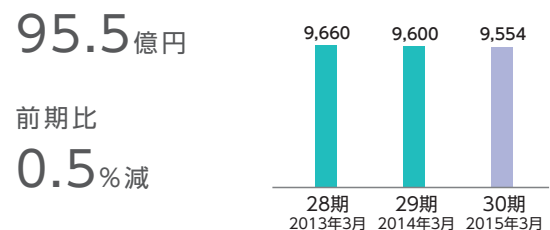
ピエトロレストランの創業当時
お客様にスパゲティのご注文をいただいてから
お待ちいただく間に提供するサラダにかけたドレッシングが
「ピエトロ物語」のはじまりです

すっぱいものが苦手な創業者の村田シェフが
国産たまねぎと九州の醤油を組み合わせで作った
まるやかな味わいのドレッシング

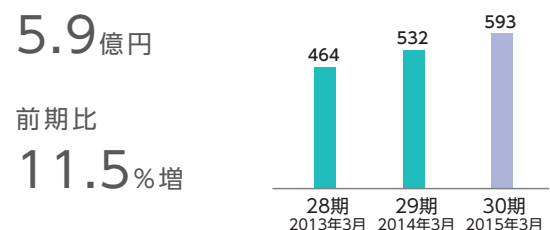
創業35周年を迎える今でも
「野菜嫌いの子どもが喜んで野菜を食べるようになった」と
驚きと喜びのお声をたくさんいただいています
お客様からの「おいしい」のひとことが私たちの宝物です

財務ハイライト

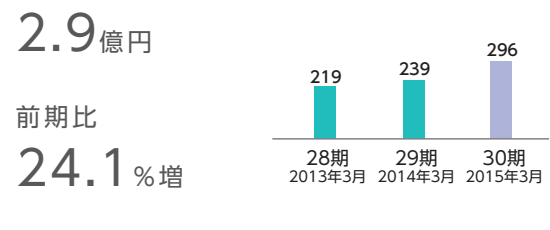
売上高 (単位:百万円)



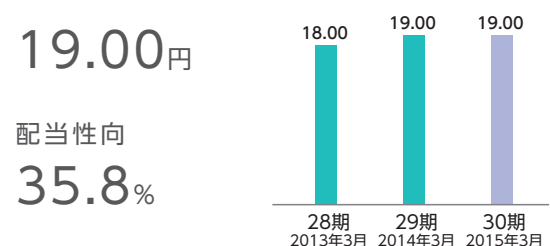
経常利益 (単位:百万円)



当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり年間配当金 (単位:円)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社2015年3月期の
事業の概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

村田 邦彦



当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善傾向にあるものの、個人消費の回復力は弱く、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

食品業界および外食業界におきましても、消費増税により消費者の節約志向が高まるとともに、円安により仕入コストが上昇するなど、厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、「おいさと健康」にこだわった付加価値の高い商品やサービスのご提供をとおして、ブランド価値向上に努めてまいりました。

また、当社は、2015年12月に創業35周年を迎えることから、全社的な取り組みとして、「食育イベント」などの記念事業を、2014年12月から実施しております。

当連結会計年度の売上高は、食品事業は増収となりましたが、レストラン事業が減収となったことから、95億54百万円(前期比0.5%減)となりました。

利益面につきましては、食品事業の売上増及び製造原価の低減により、営業利益は5億99百万円(前期比10.0%増)、経常利益は5億93百万円(前期比11.5%増)、当期純利益は2億96百万円(前期比24.1%増)となりました。

今後の見通し

2016年3月期の経営環境につきましては、景気の緩やかな回復傾向が持続していくものと期待されますが、円安による輸入価格の上昇や消費増税を契機とした節約志向の高まりなど、予断を許さない状況が続くものと思われます。

2016年3月期の連結業績予想につきましては、食品事業において、より健康を意識した高付加価値商品のご提供を行うとともに、レシピ提案など商品情報の発信力を強化して、売上拡大を図ってまいります。また、レストラン事業においては、お客様満足度のさらなる向上を図るとともに、ピエトロらしいオリジナルメニューのご提供など、店舗サービスを向上してまいります。

以上のことから、売上高は100億円(前期比4.7%増)、営業利益は6億25百万円(前期比4.3%増)、経常利益は6億円(前期比1.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3億40百万円(前期比14.5%増)を予想しております。